

名城邦夫 教授 略歴

1947年11月26日

石川県に生まれる

学歴

1971年3月

高崎経済大学経済学部経済学科 卒業

1973年3月

神戸商科大学大学院経済学研究科修士課程 修了（経済学修士）

1977年3月

神戸商科大学大学院経済学研究科博士課程単位取得満期退学

1998年3月

学位 博士（経済学）

職歴

1975年4月

名古屋学院大学経済学部経済学科助手

1978年4月

名古屋学院大学経済学部経済学科講師

1981年4月

名古屋学院大学経済学部経済学科助教授

1988年4月

名古屋学院大学経済学部経済学科教授

1991年4月

大学協議員（1993年3月まで）

1995年4月

産業科学研究所（現：総合研究所）所長（1996年3月まで）

1996年4月

経済学部長（2000年3月まで）

1997年4月

学校法人名古屋学院大学常任理事（2000年8月まで）

1998年4月

名古屋学院大学経済経営研究科教授

2001年4月

大学協議員（2005年3月まで）

2005年4月

学校法人名古屋学院大学常任理事（2008年5月まで）

2007年1月

地域連携センター長（2010年3月まで）

2007年4月

大学協議員（2009年3月まで）

2013年4月

大学協議員（2015年3月まで）

2018年3月

名古屋学院大学定年退職

2018年4月

名古屋学院大学名誉教授

学会及び社会における活動等

1972年4月

歴史科学協議会会員（1992年まで）

1975年4月

社会経済史学会会員（現在に至る）

1982年4月

経営史学会会員（現在に至る）

1984年4月

社会経済史学会評議員（2012年まで）

1984年8月

史学会会員（現在に至る）

1991年7月	学校法人名古屋学院大学評議員（1993年7月まで）
2000年4月	大学基準協会評価委員（2003年まで）
2003年7月	学校法人名古屋学院大学評議員（2006年7月まで）
2005年4月	NPO 法人エム・トゥ・エム監査（現在に至る）
2015年11月	NPO 法人窯のホール会員（現在に至る）

主要業績目録

著書

Dieter Rödel, Joachim Schneider (hrsg.), Struktur der Gesellschaft im Mittelalter, Wiesbaden 1996. 共著
『中世ドイツ・バムベルク司教領の研究—貨幣経済化と地代—』（名学大産業科学研究所研究叢書17）単
著 ミネルヴァ書房 2000.

学術論文

- 「中部ドイツにおける初期中世定住史—Wilhelm Niemeyer, Anneliese Krenzlin の研究を中心に—」単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第12巻第1・2号 1975.
- 「ドイツにおける初期中世定住と農業」単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第15巻第1号 1978.
- 「ライン・ドナウ上流域におけるローマ末期中世初期定住と農業—ウィラ・ルスティカを中心に—」単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第17巻第1号 1980.
- 「9世紀前半サン・ガレン修道院文書における土地取引—escultazio フォルクイヌスをめぐって—」単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第17巻第2号 1980.
- 「フランケン地域史研究序説—領主制成立との関連において—（1）」単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第20巻第2号 1983.
- 「フランケン地域史研究序説—領主制成立との関連において—（2）」名古屋学院大学論集（人文・自然科学篇）』単著 第20巻第2号 1984.
- 「フランケン地域史研究序説—領主制成立との関連において—（3）」『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』単著 第20巻第3号 1984.
- Einführung zur geschichtlichen Landeskunde des Frankens im Bezug auf die Entstehung der Grundherrschaft, Discussion Paper Nr. 5, Nagoya Gakuin University, 1984.
- 「中部ドイツKitzingen修道院成立史（1）—カロリング王国史との関連において—」『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』単著 第23巻第3号 1987.
- 「中部ドイツKitzingen修道院成立史（2）—カロリング王国史との関連において—」『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』単著 第23巻第4号 1987.
- 「中部ドイツKitzingen修道院発展史—フランケン地域史との関連において—」『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』単著 第24巻第1号 1987.

- 「明治中期における知多綿織物問屋一竹之内商店の場合」 共著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第25巻第2号 1988.
- 「明治後期大正初期における知多綿織物問屋一竹之内商店の場合」 共著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第26巻第2号 1989.
- 「初期中世中部ドイツにおける社会構造（1）—フランケンとテューリンゲン—」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第29巻第1号 1992.
- 「初期中世中部ドイツにおける社会構造（2）—フランケンとテューリンゲン—」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第29巻第2号 1992.
- 「Bamberg 司教領の資料，組織，年忌奉献寄進財産Obleiについて」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第31巻第4号 1995.
- 「中世バムベルク司教領の領主制の研究—貨幣経済化と現物地代の意義—」 単著 神戸商科大学博士論文 1997.
- 「西ヨーロッパ・ドイツ中世貨幣経済史序説」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第33巻第3号 1997.
- 「西ヨーロッパ・ドイツ中世信用経済の発展と教皇庁の役割」 単著『名古屋学院大学研究年報』第10号 1997.
- 「中世後期バムベルクにおけるアムト制の確立と農民生活」 単著『帝塚山経済学論集』第7号 1997.
- 「近世初期ドイツにおける帝国貨幣法の意義」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第38巻第4号 2002.
- 「中世後期近世初期西ヨーロッパにおける支払決済システムの成立—計算貨幣による市場統一—」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第43巻第1号 2006.
- 「中世後期・近世初期西ヨーロッパ・ドイツにおける支払決済システムの成立」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第45巻第1号 2008.
- 「17世紀前半西ヨーロッパにおけるニュルンベルク為替銀行の意義—アムステルダム為替銀行との比較を中心に—」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第45巻第1号 2011.
- 「近世初期都市ニュルンベルクの市場構造と貨幣流通—貨幣システムと計算貨幣の意義」 単著『松山大学論集』第24巻第4-2号 2012.
- 「『市場の貨幣史』資本主義市場経済システム成立過程における貨幣システムの革新1」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第48巻第3号 2014.
- 「17世紀前半西ヨーロッパにおけるニュルンベルク為替銀行の意義—アムステルダム為替銀行との比較を中心に—」 単著『日本における近代通貨システムへの移行の世界史的意義—「決済」の視点から—』加藤慶一郎 科学研究費補助金基盤研究（B）研究成果報告書 2014.
- 「主権国民国家と計算貨幣によるヨーロッパ貨幣史—南欧型貨幣システムから北西ヨーロッパ型貨幣システムへの発展—」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第50巻第2号 2014.
- 「西ユーラシア貨幣史1—国家と計算貨幣の歴史—」 単著『名古屋学院大学論集（社会科学篇）』第52巻

第3号 2017.

“Geschichte des Geldes im Mittelalter in Deutschland” 単著 鶴島博和編『前近代ユーラシアにおける貨幣と流通のシステムの構造と展開（I）ポスト・ローマ，イングランド，イタリア，ドイツ』科学
研究費基盤（A）課題番号16H01953研究報告書 2017.

書評・コメント

柴田英樹『ドイツ社会経済史—工業化前のドイツ800-1800—』『社会経済史学』第65巻第2号 1998.

「ヨーロッパ経済史の観点から」RIRB政策研究ワークショップ「日本における近代通貨システムへの移行の世界史的意義：『決済』の視点から」RIEBリエゾンセンター・モノグラフ 神戸大学経済経営
営研究所附属政策研究リエゾンセンター 2008.

学会報告等

「初期中世ドイツにおける集村形成と在地支配」社会経済史学会近畿部会 1982.

「中世ドイツ・フランケンにおけるグルントヘルシャフトの成立と発展—Urbarの分析を中心に—」社会
経済史学会近畿部会 1985.

「西欧中世経済史からみる貨幣の機能」日本銀行金融研究所貨幣史研究会 1998.

「ドイツ初期近世における帝国貨幣法の意義」日本銀行金融研究所貨幣史研究会 2001.

「中世後期近世初期ドイツにおける計算貨幣の意義」日本銀行金融研究所貨幣史研究会 2001.

「中世後期・近世初期ドイツにおける計算貨幣・帝国貨幣法の意義」社会経済史学会 第72回全国大会
パネル・ディスカッション『貨幣の多様性と統合の比較史』2003.

「中世後期・近世初期西ヨーロッパにおける支払決済システムの成立と発展—貨幣信用制度との関連を中心
に—」経営史学会中部部会 2005.

「中世後期近世初期西ヨーロッパ・ドイツにおける支払決済システムの成立—計算貨幣による市場統合過
程—」日本銀行貨幣史研究会西日本部会 2005.

「中世後期・近世初期西ヨーロッパにおける支払い決済システムの成立—計算貨幣による市場統合—」社
会経済史学会近畿部会 2006.

「中世後期近世初期ドイツ金融システムにおける計算貨幣の意義—ニュルンベルクを中心に—」東京大学
東洋文化研究所セミナー『近世領邦国家における貨幣と信用の比較』2009.

「西ヨーロッパ貨幣金融史におけるニュルンベルク銀行の意義—決済機能から価値尺度機能へ—」決済科
研研究会 2009.

「中世後期近世初期西ヨーロッパ貨幣金融史におけるニュルンベルク銀行の意義—決済機能を中心に—」
社会経済史学会 第79回全国大会パネル・ディスカッション『貨幣の多様性と統合の比較史』
2010.